

我が家でできる地震対策

家の中には地震が発生すると、危険になる物がたくさんあります。地震のときに屋内の家具が倒れ、避難しようとしたときに出口をふさぐようなこともあり、日頃から家具を固定するなどの安全対策が必要です。また、家の周囲にも地震が発生すると危険なところがたくさんあります。

日頃よりできることから実践し、絶えず見直ししながら安全性を高めていきましょう。

■ 家の安全対策

◆住宅の耐震化

昭和56年5月以前に着工された建物は、耐震診断や補強工事を行ってください!



◆屋外の安全対策

窓ガラス

飛散防止フィルムを貼る!

屋根

不安定な屋根のアンテナや屋根瓦は補強しておく!

ベランダ

植木鉢などの整理整頓! 落ちる危険がある場所には物を置かない!

プロパンガス

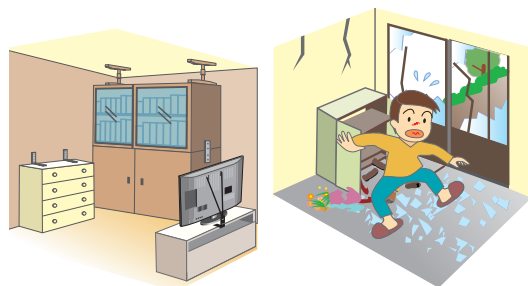
ボンベを鎖でしっかり固定!

ブロック塀・門柱

土中にしっかりとした基礎部がないもの、鉄筋が入っていないものは危険なので補強!

◆屋内の安全対策

- 通路や出入口付近には家具や荷物を置かない!
- 家具と壁や柱の間に空間を作らない!
また、L字金具・連結用金具や家具転倒防止器等を利用して転倒や移動を防ぐ!
- 窓はもちろん、食器棚や額縁等のガラスにも忘れずに飛散防止フィルムを貼る!



■ 地震の揺れと被害

震度4

- 眠っている人のほとんどが目覚めます
- 部屋の不安定な置物が倒れる



震度5弱

- 家具が移動したり、食器や本が落ちたり窓ガラスが割れることがある



震度5強

- タンスなどの重い家具や、外では自動販売機が倒れることがある
- 自動車の運転は困難



震度6弱

- 立っていることが難しい
- 壁のタイルや窓ガラスが壊れ、ドアが開かなくなる



震度6強

- 立ってられず、這わないと動くことができない
- 重い家具のほとんどが倒れ、戸がはずれて飛ぶ



震度7

- 自分の意志で行動できない
- 大きな地割れや地すべり、山崩れが発生する

